



*おやつ・雑費として毎回100円頂きます。

*発熱・体調不良の際は、利用を控えてください。マスクは個人の判断で。入室の際は手指の消毒をお願いします。

*離乳食のすすめ方、成長発達の相談は、平日の午後または子育て相談日に受けています。前日までに予約電話をしてください。

*予約電話(直通027-329-5115)

受付時間 PM12:00~15:30

*子育てひろばの活動(園庭遊び)時間

9:30~15:30 予約必要

支援室遊び PM1:30~3:30 予約必要

あけましておめでとーございます。



赤ちゃんは毎日が成長して、翌週のひろばの日には「大きくなったね」、「ハイハイができたようになった」

「人見知りかじりまじりだね」...等々、お母さんたちと子どもの成長を確かめる会話が続いています。年末年始は子どもたちはどんな生活をしてきたのか、果敢と、大人の生活にまぎれこまれて生活のリズムがくずれしてしまったり、家族とずれて満足にきかず、良いも悪いもいろいろな姿で成長していきます。長期休み明けの子どもたちに会ったのを感じず、今年もよろしくお願ひします。

1月の予定

午前の活動は9:30~11:30(9:45までに来園を)

2月の予定

月	火	水	木	金	土
あたらしい年がはじまりました。今年もよろしくお願ひします。			1. お正月休み	2.	3.
5. 園庭支援室あそび	6. 0才9~13ヶ月 散歩に行こう 遊具あそび	7. 0才2~5ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	8. 0才6~8ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	9. ハイハイ3才 どんと焼 に参加しよう (園行事)10組	10.
12. 祝日	13. 1~3才 電車を見よう 行こう	14. 0才2~5ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	15. 園庭支援室あそび 子育て相談	16. 0才6~8ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび (8組まで)	17.
19. 園庭あそび	20. ハイハイ3才 やさしいも大会 9時30分集合 15組 (10時持参)	21. 0才2~5ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	22. 0才9~13ヶ月 園庭遊具あそび	23. 0才6~8ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	24.
26. 0才2~5ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	27. 1~3才 節分のお面をつくらう (予約必要)	28. 0才6~8ヶ月 赤ちゃん体操 ふいふあそび	29. 0才9~13ヶ月 節分のお面をつくらう (予約必要)	30. 園庭あそび	31.

- ・年齢別活動はAM9:30~11:30
- ・電話相談PM1:00~3:00間です。
- ・来園での相談 年齢別活動時と他随時有り
- ・お弁当タイム(1~3才)AM11:00~12:00 なるべく手作りで。離乳食相談もします。
- ・汚しても良いように着替えを2~3着持参 水やお茶・手拭き又はタオル・夏は帽子。
- ・2・3才児はトイレトレーニングを始めるので 布パンツを3~4枚持参して来てください。
- ・保護者も動きやすい服装で。



午後の活動は、毎日園庭または支援室の遊具で自由に遊べます。お子さんから目を離さないでね。園庭で遊ぶときは、最初に職員室か支援室に声をかけてください。



1月9日(金) 9時30分集合

参加費 200円

お正月飾りも ちり紙も 燃えないうちは取り下ろしてね

やさしいも大会

1月20日(火)

場所:園庭直接きてね。雨天の場合は延期。その時2Fでお昼。各自お皿もって来てください。洗ったお皿もぬぐい新聞を巻き、それをアルミホイルでグルグルと1つ1つ包んでください。

予約10組 までです

節分のおにのお面をつくります。

材料費50円

1月27日(火)1~3才

1月29日(金)0才9~13ヶ月

材料の準備をするので 3才豆まき 前日までに予約してください。必ず

離乳食後期10ヶ月~完3期15ヶ月

カンタンメニューをつくらう



2月18日(水)

8組限定 資料代200円

持ち物:子ども用スポン

食器、コップ

生後10ヶ月以降の月齢

18日に来園の方

ひろばの日に離乳食を持

ちり紙をください。1人1人のアドバ

スが出来ます。



かわいいおひさまを つくらう



どんと焼、もちつき大会

節分、ひなまつりとどれをとっても 子どもの健康と成長を願う行事です。

なんとお祝いけど、すてかかわいいおひ さまをつくらう

材料費80円

材料の用意をするので、3日前までに 予約をして下さい。

2月16日(月)1~3才

2月20日(金)0才6~8ヶ月

2月24日(火)0才2~5ヶ月

2月27日(金)0才9~13ヶ月

当日予定がつかない時は、この4日間の 中で予約してください。

抱っこひも、いろいろあるけれど... ちゃんと使えているかな?!

いろんなタイプの抱っこひもがありますが、使い方を間違えると赤ちゃんにとってはいらいらになってしまうこともあります。抱っこひものタイプに応じた正しい使い方をするのと、抱っこひもにばかり頼らず、素手の抱っこも取り入れ、赤ちゃんが自分の体を支えられるような体幹づくりをしていけるようにしましょう。



こんな抱っこにはなっていませんか?!



吊り下げ状態

豆頭の重みが首・肩・背中・腰に負担をかけています。



がっちり固定状態

赤ちゃんが重さかたれず、ギョウスをはめたような状態。膝が曲げられず、ももは「サイズ」が合っていません。



首たれ下がり状態

首に負担がかかる。抱っこひもの背面にもたれる形になるので、体幹も育たず、骨盤も後ろに傾くのでお座りの動作が獲得しにくくなります。



前向き宙吊り状態

赤ちゃんは前しか見えず、抱っこされているのかわからないので不安になります。



丸い抱っこが良いということですがスリングを使う人も増えたように思いますが、抱いている時赤ちゃんの頭はスリングからきちんと出ていますか?! とにかく「丸く」だけを意識して豆頭からすっぽり入れて使うことで、かえって首や背中に力が入ってしまう子もいるので注意が必要です。



キャリータイプより赤ちゃんが自分でお母さんにくっこうとしますが、お座りがまだうまく出来ない子が使うと腰が入らずに背中が丸くなって猫背になってしまうことも... 座面の大きさが合っているかなども確認してみてください。



キャリータイプの抱っこひもでおんぶもしている人が多々と思いますが、抱っこの時と同様に正しい位置で使用しないと赤ちゃんに負担がかかります。



昔ながらのおんぶひもは支える部分が少ないので、使った時には赤ちゃんが自分でしがみつけないとなりません。これが体幹を育みます。手足が自由に動かせるのも良いです。赤ちゃんがお母さんの肩より一緒に前が見られるような高さでおんぶできるように調整にあげましょう。



こんな抱っこにしよう!!

赤ちゃんのおでこにキスができるくらい上にあげ、足はなるべくイサッ太根から動かせるようなものが良いでしょう。お尻を支える部分もスライドさせられるものもあるのをうまく調整にあげましょう。